美幌町における景気動向調査報告書
＜第Ⅲ四半期＞

美幌商工会議所

Ⅰ．調査要領

1．調査時点及び調査対象期間

（1）調査時点　令和３年１１月

（2）調査対象期間　令和３年　７月～９月期実績及び１０月～１２月期の見通しについて調査した。

2．調査対象

（1）景気動向調査

会員事業所の中から小売業、サービス業、製造業、建設業、卸売業の５業種１００事業所に対しアンケート方式により調査した。

3．業種別回答状況（事業所数）

企業数／業種	対象企業数	回答企業数	回答率
小売業	３０事業所	９事業所	３０．０％
卸売業	５事業所	３事業所	６０．０％
建設業	２５事業所	１５事業所	６０．０％
製造業	２０事業所	１２事業所	６０．０％
サービス業	２０事業所	５事業所	２５．０％
合計	１００事業所	４４事業所	４４．０％

○ 本調査結果中の「Ｄ・Ｉ」とある記号は、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差引いた値を示す。

業種別ＤＩ

業況（％）	今期（令和３年７月～９月）の実績（前期比）				令和３年１０月～１２月の見通し（今期比）			
	好転	不変	悪化	ＤＩ値	好転	不変	悪化	ＤＩ値
全業種	25.0	36.4	38.6	－13.6	20.5	38.6	40.9	－20.4
小売業	22.2	22.2	55.6	－33.4	22.2	33.3	44.4	－22.2
卸売業	33.3	66.7	0.0	＋33.3	66.7	0.0	33.3	＋33.4
建設業	26.7	33.3	40.0	－13.3	20.0	46.7	33.3	－13.3
製造業	25.0	33.3	41.7	－16.7	8.3	33.3	58.3	－50.0
サービス業	20.0	60.0	20.0	± 0.0	20.0	60.0	20.0	± 0.0

売上高(%)	今期（令和３年７月～９月）の実績（前期比）				令和３年１０月～１２月の見通し（今期比）			
	好転	不変	悪化	ＤＩ値	好転	不変	悪化	ＤＩ値
全業種	27.3	31.8	40.9	－13.6	20.5	36.4	43.2	－22.7
小売業	22.2	11.1	66.7	－44.5	22.2	22.2	55.6	－33.4
卸売業	100.0	0.0	0.0	＋100.0	66.7	0.0	33.3	＋33.4
建設業	20.0	40.0	40.0	－20.0	26.7	46.7	26.7	± 0.0
製造業	25.0	33.3	41.7	－16.7	0.0	33.3	66.7	－66.7
サービス業	20.0	60.0	20.0	± 0.0	20.0	60.0	20.0	± 0.0

※建設業は「完成工事高」、製造業は「生産高」を示す。

在庫水準(%)	今期（令和３年７月～９月）の実績（前期比）			
	好転	不変	悪化	ＤＩ値
全業種	8.3	54.2	37.5	－29.2
小売業	0.0	44.4	55.6	－55.6
卸売業	0.0	100.0	0.0	± 0.0
建設業	－	－	－	－
製造業	16.7	50.0	33.3	－16.6
サービス業	－	－	－	－

採算（%）	今期（令和３年７月～９月）の実績（前期比）			
	好転	不変	悪化	ＤＩ値
全業種	15.9	38.6	45.5	－29.6
小売業	11.1	33.3	55.6	－44.5
卸売業	66.7	33.3	0.0	＋66.7
建設業	20.0	40.0	40.0	－20.0
製造業	0.0	33.3	66.7	－66.7
サービス業	20.0	60.0	20.0	± 0.0

資金繰り(%)	今期（令和３年７月～９月）の実績（前期比）				令和３年１０月～１２月の見通し（今期比）			
	好転	不変	悪化	ＤＩ値	好転	不変	悪化	ＤＩ値
全業種	14.0	53.5	32.6	－18.6	11.6	46.5	41.9	－30.3
小売業	0.0	33.3	66.7	－66.7	0.0	33.3	66.7	－66.7
卸売業	33.3	66.7	0.0	＋33.3	33.3	33.3	33.3	± 0.0
建設業	26.7	46.7	26.7	± 0.0	21.4	50.0	28.6	－ 7.2
製造業	0.0	72.7	27.3	－27.3	0.0	50.0	50.0	－50.0
サービス業	20.0	60.0	20.0	± 0.0	20.0	60.0	20.0	± 0.0

Ⅱ．概況　≪全体の動き≫

令和３年第Ⅲ四半期（７月～９月）の美幌町における業況は、全業種で見ると前期比で「好転した」と答えた企業割合が２５.０％、「悪化した」と答えた企業割合が３８.６％、「好転」から「悪化」を差引いたＤ・Ｉ値は△１３.６となっており、来期（１０月～１２月）業況の見通しを全業種で見ると「好転する」と答えた企業割合が２０.５％、「悪化する」と答えた企業割合が４０.９％であり、Ｄ・Ｉ値△２０.４となっており、今期と比較し６.８ポイント落ち込む見込みですが、第Ⅱ四半期（△３４.２）と比較すると依然マイナスではありますが、２０.６ポイントものＤＩ値のマイナスを埋めており、新型コロナウイルス感染対策を行いながらの状況でも、回復の兆しが見えてきているところではありますが、来期業況の見通しを見るとあまり大きな期待感はないものであると予想されます。

＜　業　種　別　の　動　き　＞

１）小　売　業　売　上　高

前期比で「増加した」と答えた企業割合が２２.２％、「減少した」と答えた企業割合が６６.７％、Ｄ・Ｉ値△４４.５となっており、来期の見通しをみると今期同様に「増加する」と答えた企業割合が２２.２％、「減少する」と答えた企業割合が５５.６％、Ｄ・Ｉ値△３３.４となっており、来期の売り上げについては今期から緩やかな回復傾向に向かっていきそうですが、依然厳しい状況が続くと予測しています。

資金繰り

前期比で「好転した」と答えた企業割合は０.０％、「悪化した」と答えた企業割合が６６.７％、Ｄ・Ｉ値△６６.７、来期の見通しをみると「好転する」と答えた企業割合が０.０％、「悪化する」と答えた企業割合が６６.７％Ｄ・Ｉ値△６６.７となっており、資金繰りに関しては売上の増加傾向に関わらず、依然として厳しい状況であると予測しています。

２）卸　売　業　売　上　高

前期比で「増加した」と答えた企業割合が１００.０％、「減少した」と答えた企業割合が０.０％、Ｄ・Ｉ値＋１００.０となっており、来期の見通しをみると今期同様に「増加する」と答えた企業割合が６６.７％、「減少する」と答えた企業割合が３３.３％、Ｄ・Ｉ値＋３３.４となっており、前期と比較すると大幅に好転しておりますが、来期については回復傾向がやや緩まっていくと予測しており、徐々に売上回復がされていくと予想されます。

資金繰り

前期比で「好転した」と答えた企業割合は３３.３％、「悪化した」と答えた企業割合が０.０％、Ｄ・Ｉ値＋３３.３、来期の見通しをみると「好転する」と答えた企業割合が３３.３％、「悪化する」と答えた企業割合が３３.３％、Ｄ・Ｉ値±０.０となっており、資金繰りについても、売上同様に改善されていく状況になると予想されます。

3）建　設　業　完成工事高　前期比で「増加した」と答えた企業割合が２０.０％、「減少した」と答えた企業割合が４０.０％、Ｄ・Ｉ値△２０.０となっており、来期の見通しをみると今期同様に「増加する」と答えた企業割合が２６.７％、「減少する」と答えた企業割合が２６.７％、Ｄ・Ｉ値±０.０となっており、前期（△３３.３）と比較し、依然マイナス数値ではあるものの少しずつ回復傾向にあり、来期についても今期同様に回復傾向になっていくと予測しています。

資金繰り　前期比で「好転した」と答えた企業割合は２６.７％、「悪化した」と答えた企業割合が２６.７％、Ｄ・Ｉ値±０.０、来期の見通しをみると「好転する」と答えた企業割合が２１.４％、「悪化する」と答えた企業割合が２８.６％Ｄ・Ｉ値△７.２となっており、前期（△８.３）より回復傾向にありますが、来期に関しては依然として厳しい状況が続いていくと予想しています。

4）製　造　業　生　産　高　前期比で「増加した」と答えた企業割合が２５.０％、「減少した」と答えた企業割合が４１.７％、Ｄ・Ｉ値△１６.７となっており、来期の見通しをみると今期同様に「増加する」と答えた企業割合が０.０％、「減少する」と答えた企業割合が６６.７％Ｄ・Ｉ値△６６.７となっており、前期（△１４.３）と比較し以前厳しい状況であり、来期については大幅な売上減になるとと予測しています。

資金繰り　前期比で「好転した」と答えた企業割合は０.０％、「悪化した」と答えた企業割合が２７.３％、Ｄ・Ｉ値△２７.３、来期の見通しをみると「好転する」と答えた企業割合が０.０％、「悪化する」と答えた企業割合が５０.０％、Ｄ・Ｉ値△５０.０となっており、生産高同様に厳しい状況が続いており、来期についても同様な状況であると予測します。

5）サービス業　売　上　高　前期比で「増加した」と答えた企業割合が２０.０％、「減少した」と答えた企業割合が２０.０％、Ｄ・Ｉ値±０.０となっており、来期の見通しをみると今期同様に「増加する」と答えた企業割合が２０.０％、「減少する」と答えた企業割合が２０.０％、Ｄ・Ｉ値±０.０となっており、前期（△４０.０）と比較し大きく回復しており、来期についても今期と横ばいになっていくと予測しています。

資金繰り　前期比で「好転した」と答えた企業割合は２０.０％、「悪化した」と答えた企業割合が２０.０％、Ｄ・Ｉ値±０.０、来期の見通しをみると「好転する」と答えた企業割合が２０.０％、「悪化する」と答えた企業割合が２０.０％Ｄ・Ｉ値±０.０となっており、売上高が回復傾向にあるため、資金繰りに関しても売上高同様に好転しており、来期についても継続していくと予測しています。

業　種　別　　経　営　上　の　問　題　点

<table>
<tr><th></th><th>1 位</th><th>2 位</th><th>3 位</th><th>4 位</th><th>5 位</th></tr>
<tr><td>小　売　業</td><td colspan="2">新型コロナウイルスによる影響
／得意先（客数）減少</td><td>諸経費増</td><td colspan="2">人件費増／人材不足</td></tr>
<tr><td>卸　売　業</td><td colspan="4">人件費増／得意先（客数）減少／同業者間の競合
／新型コロナウイルスによる影響</td><td></td></tr>
<tr><td>建　設　業</td><td>人材不足</td><td colspan="2">人件費増／諸経費増</td><td colspan="2">新型コロナウイルスによる影響
／その他（原料の高騰）</td></tr>
<tr><td>製　造　業</td><td>新型コロナウイルスによる影響</td><td>人材不足</td><td>得意先（客数）減少</td><td colspan="2">人件費増／諸経費増
／その他（原材料の高騰）</td></tr>
<tr><td>サービス業</td><td>新型コロナウイルスによる影響</td><td colspan="3">諸経費増／人材不足／得意先（客数）減少</td><td></td></tr>
</table>